

課題展開能力

- ・課題形成面では、現状を把握しようとする姿勢はあるが、問題のとらえ方があまくなりがちである。事実相互の関連から情報収集を深めていくまではいかないが、与えられた情報の裏付けを視点からつかみ、活用していくことができる。問題をつきつめて考えようとする姿勢に乏しく、事実の関連などをとらえて、絡的な結論にすぐ結付けてしまいがちである。具体的に目標を設定したり、つながりをもって課題に落とし、が抽象的なものになりがちである。
- ・課題処理面では、決定を遅らせがちであるが、課題の優先順位を考えながら、手順や日、一つの角度にとらわれず、法は、ほぼ適切なもの判断の根拠やうである。

課題遂行能力

- ・集団への働きかけの面では、方向づけたりまとめるなど、中心となって集団を引張ることができ、目標意識が高く、集団の高い成果を生みだそうと、活発な言動をとりながら熱意をもって、働かせ、常にグループの中心になって、集団を引っ張っていくことができる。全体の状況や雰囲気を感じ察しそれを場に投げかけたり、メンバー間の、たりしながら、メンバー全員が合致する結論にまで調整していくことが、
- ・個性への働きかけの面では、一方的にならず、自分の意見を、自分の考えを相手にわかってもらいたいという熱意を、ていこうとするが、論旨が整理されていないか、相手の発言内容に関心をもち、それを正、ではいかず、正誤の判断に基づく、
- ・取組み姿勢は前向きで、進んで高い目標、の中心と、反論、

ディメンション別ランク得点および根拠

ディメンション	ランク	根拠
課題形成	情報収集力 3	情報入手数は8件でふつうである。自社以外の外部情報を求めている。上位組織についての情報を、情報誌、
	分析力 1	情報請求一覧表で請求理由と請求内容の区別ができていない。案件の処理理由は、理由・根拠ではなく処理内容、基本情報や案件からはあまり、列挙され、
	構想力 2	方針の内容が情報シートと同じものがある。目標と矛盾したり外れたりする方針がある。任務と方針につながりがない。
課題処理	手順化力 4	着任後の予定を具体的に日程を決めて書いている。案件処理を指示するメモに、納期や期限を明示、現状把握シートで、任務を一つ、案件処理、
	発想力 3	課題に対して、適切な対策案を考え出している。課題に対して、それぞれ3つの対策を書いている。案件処理で具体的な案を、対策の、
	意思決定力 1	案件の処理件数は11件中10件であった。案件処理で、状況が明確になるまで決定を延ば、メリット・デメリットや、判断根拠、

ディメンション別ランク得点および根拠

ディメンション	ランク	根拠
集団への働きかけ	統率力 5	本人の言動によってグループの方向が決まる。状況をみて進め方の軌道修正をする。一貫して熱心にグループに働き、指示内容、
	調整力 4	グループの結論や進め方について、全員の意向を確かめる。反対意見のありそうな人や理解不十分と思われ、雰囲気をはぐしたり、盛、その場の、
個人への働きかけ	説得力 3	相手の意見に対し、論理的に反論し、納得させる。結論を先に述べたり、強調するなど、意図を、理論・理屈だけで押通そうと、同じ論、
	他者理解力 3	自分と反対の考え方に対して、肯定的に反応する。相手の意識や気持を引出すような質問を投げかけ、揚げ足をとったり、言葉、他者の、
自律性	積極性 5	課題に対して、最初に口火をきっていき、状況をみて、板書役や書記役を率先してやる。他人より先に自分から意、自分の、
	強靱性 4	自分の意見をくり返し主張する。言ったこと、必要なことを素早く行動に移す。他者意見への賛否を素早く、反撃、